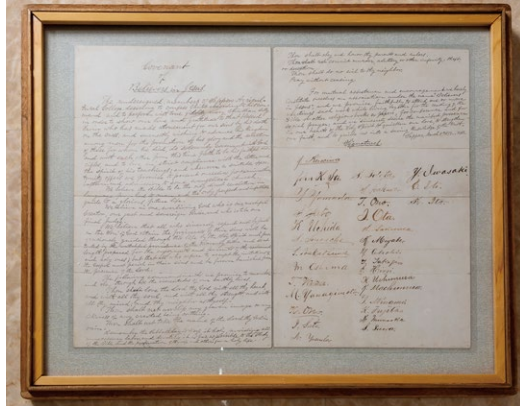


【さっぽろどくりつきりすときょうかいもんじょ】

札幌独立キリスト教会文書



『明治15年4月29日付宮部金吾宛渡瀬寅次郎書』



『イエスを信ずる者の契約』



上：『伝クラーク博士持参讃美歌』

下左：『柳本通義旧蔵伝クラーク博士譲与聖書』

下右：『伝大島正健旧蔵クラーク博士譲与聖書』

クラークと札幌バンド

札幌独立キリスト教会文書は、札幌農学校教頭クラーク博士による伝道活動が行われた明治10(1877)年から札幌独立キリスト教会が自立した明治15(1882)年までの7点の文書である。英文書1点(イエスを信ずる者の契約)、洋書籍3点、和文書簡3点で構成され、札幌におけるキリスト教伝道・受容の黎明期を具体的に示すものであり、開拓期の札幌の生活文化をうかがい知ることができる貴重な資料である。

イエスを信ずる者の契約は、クラーク博士が明治10年3月に起草し、札幌農学校第一期生、第二期生が署名した文書である。キリスト教史において、札幌は熊本、横浜とともに日本におけるプロテスタントの発祥地のひとつとされ、伝道活動を展開した札幌バンド(信仰・伝道に熱心な青年集団)結成の契機となった文書であり、日本プロテスタント史の黎明期を直接物語る重要な一次史料である。

制作年代：明治10(1877)年～明治15(1882)年

指定年月日：平成28(2016)年7月28日

所在地：札幌市中央区大通西22丁目1-6
札幌独立キリスト教会

お問い合わせ：札幌独立キリスト教会 ☎ 641-3522

観覧形態：事前予約の上観覧可

アクセス

地下鉄東西線「西18丁目」1番出口より約400m

